

Trypcase Soy Agar (TSA-T)

トリプケースソイ寒天培地

使用目的

トリプケースソイ寒天培地は、特殊な成長要求事項を有しない微生物の成長を促すための培地です(1)。本培地は、ヨーロッパ薬局方の B 寒天培地に合致した培地であり(4)、さらに米国薬局方も遵守しております(5)。

原理

多くの微生物の成長を促進するペプトン混合物を含んでいます。

キットの構成

REF 42101	試験管 20 本入り	(開封後使用可)
-----------	------------	----------

組成

理論値

本培地は、要求される性能基準に従い、調整/補足することが可能です。

カゼイン ペプトン (ウシ)	15 g
大豆ペプトン	5 g
塩化ナトリウム	5 g
寒天	15 g
精製水	1L
pH 7.3	

必要な機器

- 気圧調整器
- ジャー
- 微生物インキュベーター 又は
- 気圧調整可能な温度管理チャンバー

使用上の注意

- **in vitro** 試験のみに使用してください。
- 熟練者が使用してください。
- 本キットは、動物由来の原料を含んでいます。動物の起源及び/或いは衛生に関する証明書は、伝染性の病原菌が全くないことを保証するものではありません。よって、感染の可能性があるものとして通常の安全に留意をしてこれらを取り扱うことが推奨されます(体内に取り込んだり、吸い込んだりしないでください)。
- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した伝染性であるものとして適切にお取り扱いください。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱いください。**安全ガイドライン** : "CLSI/NCCLS—M29-A, *Protection of Laboratory Workers From Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline—Current Revision*". **操作留意事項** : Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories—CDC/NIH—Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従ってください。
- 培養培地は、製造原料や構成成分として使用しないでください。
- 有効期限切れの試薬は使用しないでください。
- 汚染の可能性がある試験管は使用しないでください。
- 使用前に、試験管のキャップが適正な場所にあるかを確認してください。
- 本添付文書で提示した性能データは、同書に記載された方法を用いて得られたものです。検査方法の変更または一部改変により、結果に影響を及ぼす可能性があります。

- 検査結果は、患者の病歴、検体、コロニーおよび顕微鏡形態、および、必要であれば、他の検査結果を考慮に入れて判定してください。

保管方法

- 培地は、2°C~25°C 下で有効期限まで保管可能です。

検体

本培地は、微生物株を培養するために使用します。

使用法

1. 菌を接種した試験管を培養します。
2. 適した気圧に試験管を置きます。必要に応じて、気圧調整器を用います。
3. 37°Cで培養します。現在の標準に従い、意図した使用に適した温度を選択します。培養時間は、微生物の種類により異なります。通常、通常、24-48 時間培養します。しかし、必要に応じて培養時間を延長してください。

判定

- 培養後に、発育を観察します。

品質管理

プロトコール :

培地の栄養能力は、次の菌株を用いて試験します：
Staphylococcus aureus ATCC® 6538

結果の範囲 :

試験菌株は、33-37°C、24 時間培養においては、発育が認められます。

注意 :

品質管理は、培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度等)に従って実施されることをお勧めします。

検査の限界

- 発育性は、各微生物の栄養要求性によって異なります。ある種の菌株は特殊な栄養要求性を必要とするため、発育しない可能性もあります。

性能

16 種類の細菌 : 7 種類のグラム陰性菌(腸内細菌およびその他グラム陰性菌)、9 種類のグラム陽性菌および 1 種類の酵母様真菌(*Candida*)を用いて、37°Cで評価されました。

栄養能力 :

全ての試験された菌株は、24 時間以内に発育可能です。

廃棄処理



未使用の試薬は、有害化学物質廃棄物の処理手順に従って処分してください。

使用済み試薬および他の汚染廃棄物は全て、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱い方法に従って行ってください。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄してください。

参考文献

1. FINEGOLD S.M., MARTIN W.J., SCOTT E.G.- *Bailey and Scott's Diagnostic microbiology*—MOSBY—1978.
2. Mac FADDIN J.F. – 1985 – *Media for isolation –cultivation – identification-maintenance of medical bacteria*, vol. 1, Williams and Wilkins, Baltimore.
3. MURRAY P.R., BARON E.J., PFALLER M.A. et al. –1995 – *Manual of clinical microbiology*, 6th ed. –American Society for Microbiology –ISBN 1-55581-086-1.
4. European Pharmacopeia IV (2002) –ISBN 92-871-4841-4.
5. USP XXV (2002)

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n>回分の試験を含む

(問い合わせ先)

製品関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)

*本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.biomerieux-jp.net/>

バイオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー2 階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>



bioMérieux SA

376 Chemin de l'Orme

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>



BIOMÉRIEUX

The logo is a registered and protected trademark of bioMérieux sa or one of its subsidiaries.